

令和元年度事業報告

1. 令和元年度、理事会及び評議員会の開催について

(1) 第79回評議員会

- ・ 日時 平成31年4月5日（木）10時30分～11時45分
- ・ 場所 こどもの国 大会議室
- ・ 議案
報告事項
平成31年度事業計画
平成31年度予算
両陛下へのご説明等について
施設整備計画について
遊具における事故について

(2) 第94回理事会

- ・ 日時 令和元年5月16日（木）10時30分～11時55分
- ・ 会場 ワイム貸会議室四谷三丁目
- ・ 議案
第1号議案 平成30年度事業報告（案）
第2号議案 平成30年度決算（案）
第3号議案 定款の変更について
第4号議案 役員人事について
第5号議案 役員等報酬等支払規程の改正について
第6号議案 定時評議員会の招集について
報告事項 4月12日の行幸啓について
その他

上記6案が審議され、承認された。

(3) 第80回評議員会

- ・ 日時 令和元年5月30日（木）10時15分～11時30分
- ・ 会場 ワイム貸会議室四谷三丁目
- ・ 議案
第1号議案 平成30年度事業報告（案）
第2号議案 平成30年度決算（案）
第3号議案 定款の変更について

第4号議案 役員人事について
第5号議案 役員等報酬等支払規程の改正について
報告事項 4月12日の行幸啓について
その他

上記5案が審議され、承認された。

(4) 第95回理事会

- ・ 日 時 令和元年5月30日（木）11時45分～12時00分
- ・ 会 場 ワイム貸会議室四谷三丁目
- ・ 議 案
第1号議案 理事長の選定について
第2号議案 業務執行理事の選定について

上記2案が審議され、承認された。

(5) 第96回理事会

- ・ 日 時 令和元年11月19日（火）10時30分～11時40分
- ・ 会 場 こどもの国 大会議室
- ・ 議 案
報告事項
令和元年度上半期事業報告
定款変更の厚生労働省の認可について
こどもの国協会施設整備予算要求（厚生労働省）について

(6) 第97回理事会

- ・ 日 時 令和2年3月23日（月）10時25分～11時40分
- ・ 会 場 ワイム貸会議室四谷三丁目
- ・ 議 案
第1号議案 令和2年度事業計画（案）
第2号議案 令和2年度予算（案）
報告事項 評議員会の開催予定について
 コロナウィルス対策について
 事故等への対応状況について

上記2案が審議され、承認された。

2. 入園者の動向

(1) 年間入園者

令和元年度の有料入園者数の状況は、年間を通して台風や長雨、暖冬など自然環境による各月の増減に加え、新型コロナウイルスの影響を受け、854,739人と前年度から19,001人の減となった。

(2) 半期ごとの状況

4月2日に有料入園者数累計4,500万人を達成する幸先良いスタートとなり、4月12日には行幸啓もあり、過去20年間で最高の入園者数を記録した。今年のG.W.は10連休となり晴天も続き昨年比約2万人の増となった。

6月7日に梅雨入りし、7月29日の梅雨明けは平年より8日遅い長梅雨となり、この間ほとんど晴れ間がなく、7月の入園者数は、平成15年の冷夏から16年ぶりに3万人に達しなかった。しかし梅雨明け以降は、厳しい猛暑日が続いたが、雨天が少なかったため、入園者数は伸び上期の入園者数は、前年比9千人増の入園者数となった。

9月、10月に入り台風の影響で9月9日に台風15号が上陸、10月12日は台風19号の影響で交通機関が計画運休し、翌13日の交通機関の運行を待って12時開園とした。10月は、週末だけでなく平日も雨天により多く遠足団体がキャンセルとなり、開園以来最低であった1昨年を下回り、前年比25千人の減となった。11月以降は天気も安定し暖かく昨年に続き、木枯らしが吹かず春一番は平年より2週間早く吹くなど暖冬傾向が顕著になり、特に2月は前年比15千人の増となった。しかし2月20日以降新型コロナウイルスの影響でマラソン団体や遠足団体が相次いでキャンセルとなり、3月27日(土)、28日(日)は県の週末外出自粛要請を受け休園とした。結果、下半期の入園者数は前年比28千人の減となった。

3. 主な事業

「こどもの国協会の解散及び事業の承継に関する法律」(昭和55年法律第19号)第1条第3項に掲げる事業として、既存施設・設備を引き続き運営するほか、次の事業を行った。

(1) 自然と親しむをコンセプトに来園促進

「野草のてんぷら」、「ほだ木にシイタケ菌の駒打ち」、「ジャガイモ掘り」、「枝豆収穫」などの自然体験イベントを実施した。イベントに合わせて畑で育てたタマネギを収穫し販売した。

このほか、子どもたちと自然の触れ合いの機会を充実させるため、「カブト虫の幼虫探し」、飼育するヘビやカメなどへの「えさの時間」、「ザリガニ釣り大会」、「セミの羽化観察」、「セミ取り」、「セミのぬけがら調査」、「バッタ観察と飛ばし大会」、「秋・冬の虫の観察」、「冬の野鳥観察」など、生き物の生態を感じてもらおう四季折々のイベントを開催した。加えて、「ゆめゆめシティ」、「梅まつり」も例年通りに開催したが、3月の「ツバキまつり」はコロナ禍のためにイベントを自粛、中止とした。

顧客満足度を高めるために、「七夕そうめん流し」、「ダッチオープン調理」などの食育に関わる各種イベントも開催したが、募集を上回る応募があるなど好評であった。

また、平日の集客増と高齢者の利用を促すための「ノルディックウォーキング」は、月1回のペースで継続している。

(2) 雪印こどもの国牧場との連携

約1,000本の桜が見ごろを迎えた3月末と4月頭の4日間に「雪印こどもの国牧場」と連携し「桜と羊のフェスティバル」を開催した。

5月には雪印メグミルクの後援を得て、雪印こどもの国牧場と雪印メグミルクが牧場エリアにおいて「牛乳まつり」を、11月には「牧場まつり」を開催し、牧場ならではのイベントで楽しんでいただいた。

(3) 企業の助成や協賛、教育関係団体等の協力による事業の実施

① こどもの国春まつり・秋まつり

朝日新聞社との共催により、ゴールデンウィークの3日間に「春まつり」、10月の連休に「秋まつり」を開催した。中央広場及び記念館に於いてテレビ番組でおなじみのヒーローショーや、本格的な大道芸のパフォーマンスショーや体験など、両期間を通して多彩なイベントを実施した。

② 吹奏楽コンテスト・青空コンサート

中央広場で野外演奏する「春の青空コンサート」を5月に開催し、近隣の中学校の吹奏楽部員たちが日頃の成果を披露した。

10月には第38回吹奏楽コンテストと「秋の青空コンサート」を行った。

③ サンマを炭火で食べる会

本年度で第27回目を迎えた「サンマを炭火で食べる会」を、9月中旬の2日間で開催した。両日合わせて2,853人が参加、サンマが大変な不漁である中、女川・気仙沼の両漁港に、開催に必要な量を確保し

ていただいた。なお、イベントの開催にあたっては、引き続き、東京燃料林産、日本特殊製法塩協会、コカ・コーラボトラーズジャパン、アサヒ飲料販売、伊藤園、ミツカンの各社のご協力をいただいた。

④ こどもの国サッカー大会・朝日新聞サッカースクール

11月に近隣のサッカー協会などの協力による第38回のサッカー大会を、12月に朝日新聞社販売局の協力によるサッカースクールを開催し、多くのサッカー少年少女に楽しんでいただいた。

⑤ フォトコンテスト

雪印メグミルク、資生堂、横浜エフエム放送、朝日新聞社、朝日新聞出版、ベルマーク財団の後援を得て、園内の自然と家族をテーマに作品を募集し、春は360点ほどの応募があった。秋はここ数年の応募減を鑑み中止した。

⑥ 児童福祉関連

資生堂社会福祉事業財団の一部助成を得て、11月に「児童福祉施設駅伝大会」と「児童福祉施設女子駅伝大会」を、1月に施設の児童に加え職員も参加する「児童福祉施設卒業生送別マラソン大会」を開催した。

⑦ ジャンボカルタとり大会・どんど焼き

テレビ朝日福祉文化事業団の助成を得て、正月行事として「ジャンボカルタとり大会」と「どんど焼き」を実施した。どんど焼き終了後に、焼き芋を子供ら300人に振る舞った。

4. 地域との連携強化

① 近隣地域との交流を推進するため、夏休み及び冬休みにおける地元自治会主催の「親子の集い」行事の実施にあたり、プールおよびスケート場を無料開放した。

② 横浜市青葉区の広報紙「AOBA」にこどもの国の告知枠をいただいております。その枠を有効に活用し、イベント情報に加え「今月の見どころ」も毎月紹介している。

③ 各種イベントを通じて、鉄道会社などの企業や警察、消防などの公的機関及び地域団体等との連携に努めている。東急バス青葉台営業所と青葉警察署がコラボした交通安全教室を開催、バスの死角体験や自転車シミュレーター体験などを行っていただいた。青葉区役所で開催された「区民まつり」にも例年通り出店し、園内で収穫した銀杏を販売し好評を得た。

④ 東急電鉄と横浜高速鉄道が2018年秋よりこどもの国線で運行している「うしでんしゃ」は、2020年3月いっぱい終了の予定だった

が、好評につき運行を延長している。加えて、3月末からは「ひつじでんしゃ」も運行を開始し、電車での来場者に楽しんでもらっている。

5. 自然環境及び施設・整備

豊かな自然を維持するため、樹木の剪定、伐採、植樹を計画的に進めているところであるが、ナラ枯れが発生し、周辺の樹木への影響を防止するため、緊急的に外周道路沿いに100本の樹木を伐採、焼却処分した。なお、本年度は、日本宝くじ協会の助成金で、「ふれあい学び館」を整備し、こどもの国の歴史や、皇室との関係についての展示、及び園内の自然環境を楽しんでいただくための展示を行うこととしていたが、コロナウイルス感染予防の観点から、施設オープンを保留している。

6. 広報・PR活動の強化等

(1) 広報・PR活動の強化

東急や小田急などの企業と連携する「出前こどもの国」は、駅前や商業施設に出店し、訪れた親子連れ等に風車の工作や缶バッジ作りを楽しんでもらうとともにPRパンフレットとこども無料招待券をプレゼントするという園外広報活動を行っており、2010年の開始以来10年目を迎えた。

また、本年度から、新規の開催場所として「京王百貨店聖蹟桜ヶ丘店」「東急百貨店吉祥寺店」「林試の森（最寄り駅：武蔵小山駅）」が加わり、東急系列と合わせ、活動場所を拡充した。

(2) デジタルツールの強化

こどもの国のホームページの更新頻度は十分に高まり、内容も非常に充実してきた。スマートフォンでの閲覧がとても多いので、イベントカレンダーを始め、諸々のコンテンツを見やすく使いやすいように改良した。また、引き続きツイッターの投稿頻度を高めることにより、タイムリーな情報の発信にも努めている。加えて、問い合わせメールへの迅速かつ正確な返信にも努めている。

(3) こどもの国ニュースの発行

広報紙「こどもの国ニュース」は、タブロイド版カラー4ページで、学校が夏休みの8月以外の毎月（年11回）発行している。各号につき、4万8千～5万部を印刷し、このうち3万7千部は、教育委員会・教育事務所を通じて全国の小中学校に配布、図書館やマスコミ、官庁、企業など

に送付している。本年度は 588 号から 598 号まで 11 回発行した。

7. 消費増税に伴う利用料の値上げ

消費税値上げに伴い料金の見直しを図ったところ令和元年度の入園者数は一昨年に比べ 19 千人減となったものの、利用料収入は 1.1%、4 百万円増となった。

微増であった主な要因は、そもそも入園者が減となってしまったこと、値上げは 10 月からであり、半年分しか反映されなかったことスケートの利用者は大幅な減となり、9 百万円弱の増加見込みが、11 百万円弱の減となってしまったことが挙げられるが、今回の値上げ等に関し、入園者から、特に批判や苦情等は寄せられなかった。

8. 行幸啓等について

平成 31 年 4 月 12 日、当時の天皇皇后両陛下が御在位期間として限られた御日程の中を行幸啓賜った。

それに先立ち、4 月 10 日のご結婚 60 年(ダイヤモンド婚)を祝し、皇太子記念館前の広場に「アタミザクラ」を植樹するとともに、記念写真展を実施したほか、中学生以下の子どもたちの入園料を無料にした。

また、新天皇即位にあたっては、記念入園券を 5 月 1 日から発券した。

なお、後日、両陛下からこどもの国にご来園された際の思い出の写真について御依頼を受け、献上しました。大変お喜びいただいたと宮内庁から連絡をいただいた。

9. 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

令和 2 年 2 月より、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、密室、密集(接触)での活動を避けるよう、各種イベントの開催を自粛するとともに、屋内施設等の利用制限を行った。

3 月末には、首都圏知事による、週末の不要不急の外出自粛要請が行われたことに伴い、休園措置を講じているが、新年度に入っても、その禍は未曾有の事態を招いており、入園料・利用料で運営する当園の運営に極めて重大な影響が生じており、早期の終息を願うところである。

以上